

世界をカエル 紙カップが ヨミガエル

～食品用紙容器リサイクル事業の実証実験に参加して～

常葉大学 健康栄養学科 食品衛生学研究室

栗本結月 佐々木理冴 清水夢加

祖出桃瑚 橋本奈央 樋口みう 山本梨夏



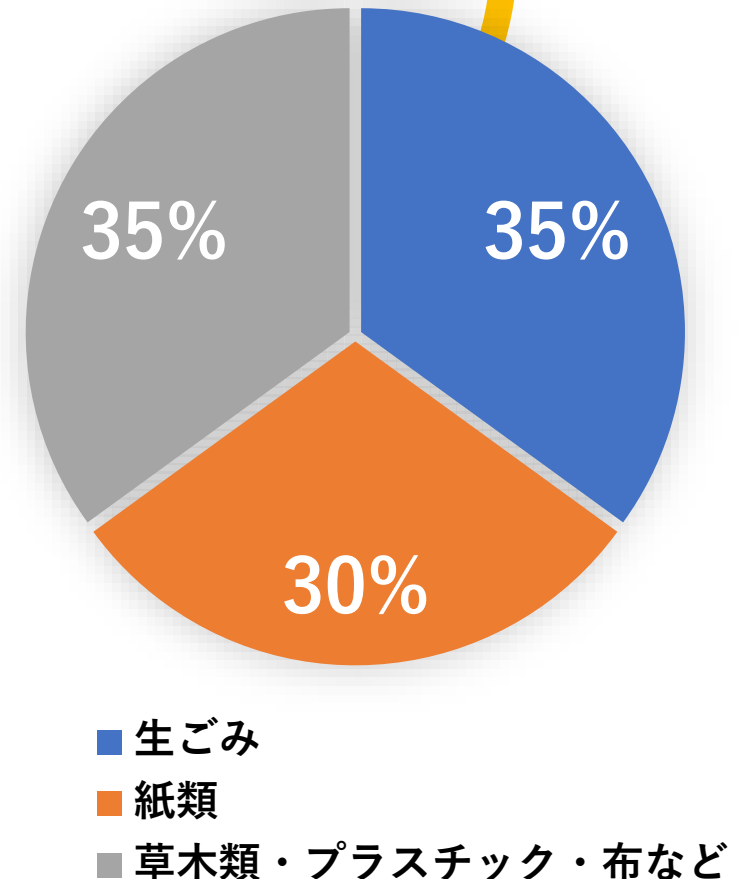
現状と目的

家庭から出る可燃ごみのうち約30%を紙類が占めている。

使用済みの食品用紙容器は汚れや臭い、防水加工の問題から、浜松市では(雑紙)としての回収対象外であり可燃ごみとして処分されている。

食品容器紙容器リサイクル事業の対象となるアイスクリームカップ、ヨーグルトカップ、紙コップを回収することで、浜松市の可燃ごみの約1/3を占める紙類を減らすことができ、可燃ごみの全体の減量にも繋がると考えられることから、参加・協力を継続することとした。

浜松市の家庭から出る可燃ごみの内訳



食品用紙容器の回収方法



本館1階の回収ボックス



回収ボックスの設置

- ・ 5号館入口 (昨年度～)
- ・ 本館1階のコンビニ付近 (本年度)

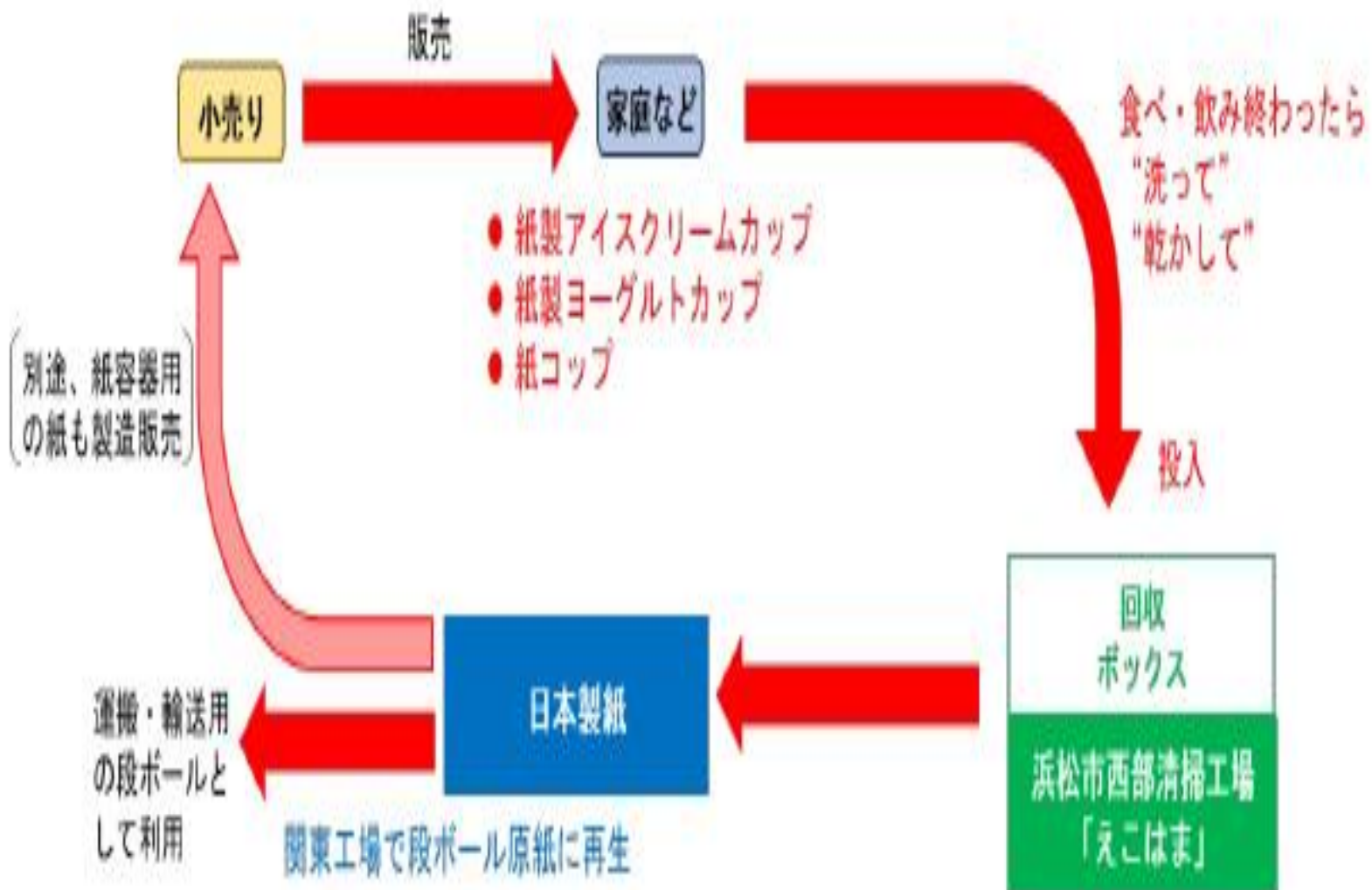


紙容器回収

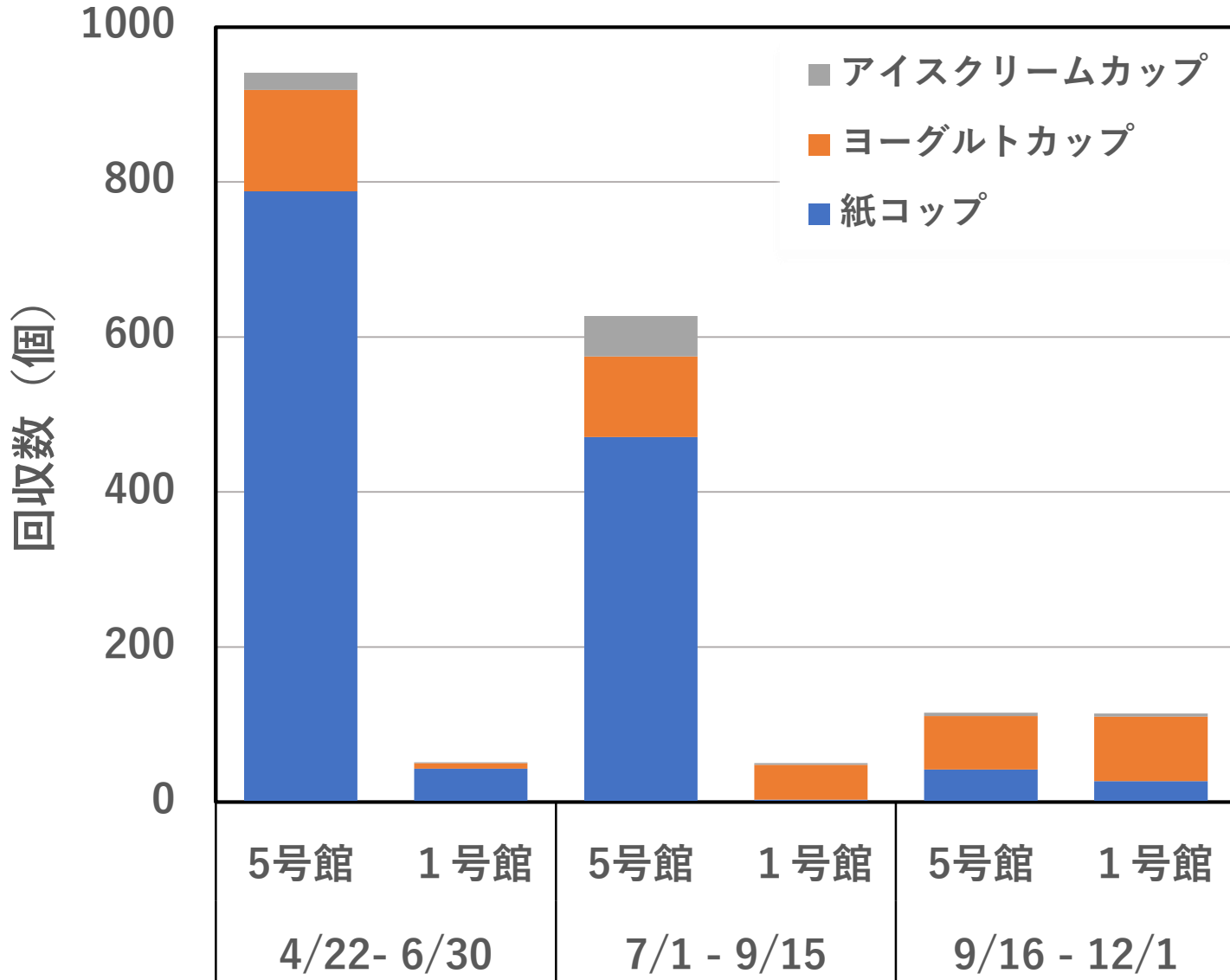


定期的に集計

紙容器回収から再利用まで



紙容器の回収結果



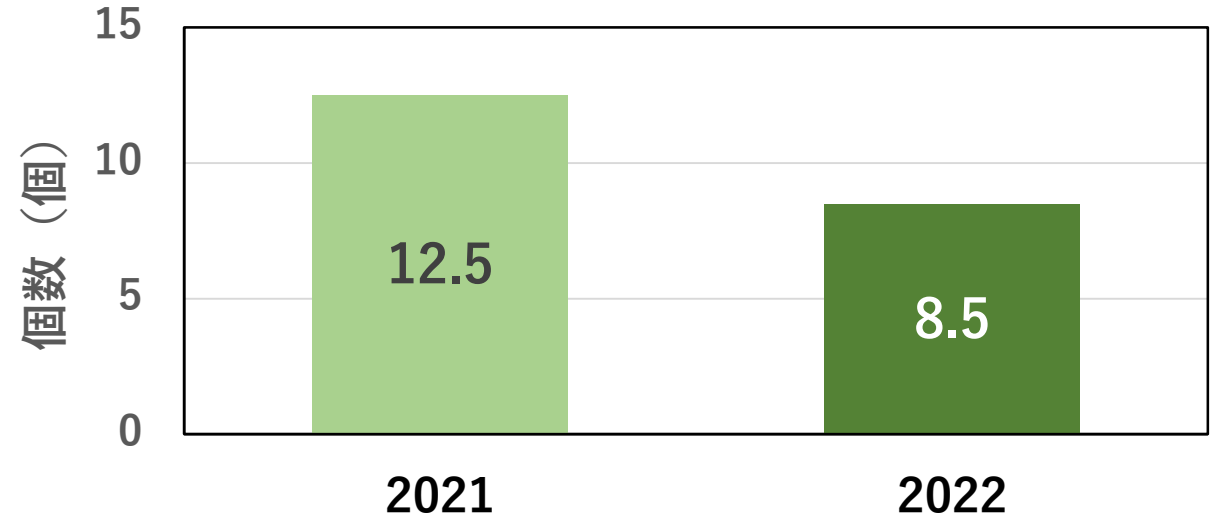
合計回収個数：1896個
合計回収重量：12.6kg

- 回収期間の前半は、暑い時期であったこと実習等で紙コップを使用したこともあり、紙コップをはじめ、紙容器が多く回収された。
- ヨーグルトカップは時期に関係なく一定量回収された。アイスクリームは夏場に多く回収された。

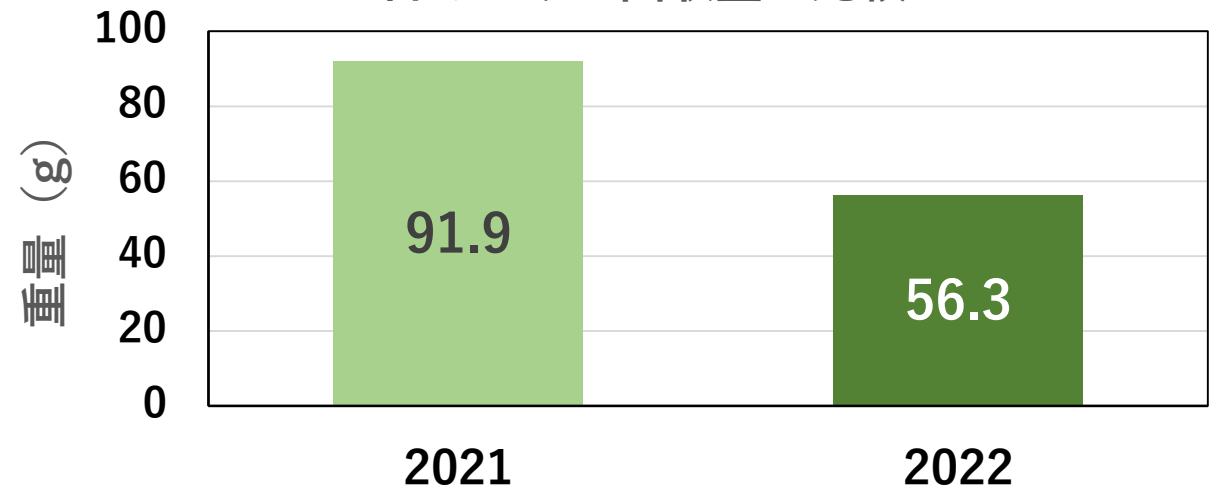
回収量の昨年度との比較

	2021年度	2022年度
回収期間	5/17-11/5	4/22-12/1
回収日数	173	224
回収数 (個)	2164	1896
回収量 (kg)	15.9	12.6

1日あたりの回収数の比較



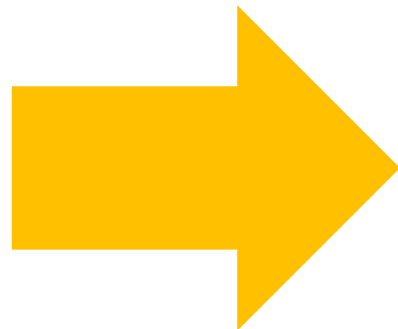
1日あたりの回収量の比較



どれくらいの紙容器が段ボールになるか？



×45個



120サイズ 段ボール

明治ブルガリアヨーグルト
400 g 入

今回の回収量は
16個分

@tokohama_voice

インスタ紹介

世界をカエル、

紙コップをよみがえらせる

- 現在浜松市が実施している紙容器リサイクル事業に参加してます。
- 5号館1階、本館1階のコンビニ前に回収ボックスを設置しています。紙コップ、アイスクリームカップ、ヨーグルトカップを洗って乾かして入れちゃってください♪

みんなのオープンキャンパスのアカウントに杉山ゼミの活動が掲載されています。

ぜひチェックしてみてくださいね♪

#リサイクル#紙容器リサイクル#世界をカエル



tokohama_voice



いいね!: hobitto1958、他

tokohama_voice 今日、健康プロデュース学部健康栄養学科杉山ゼミの取組みをご紹介します😊

「世界をカエル、紙コップをよみがえらせる」🐰

紙容器回収活動の紹介

- ◆ アルバルク東京 (Bリーグチーム)
試合会場で「ReCUP WASHER」
を使い、紙カップを回収
- ◆ JAL グループ
機内で使用した紙製カップ類の
リサイクルを開始
- ◆ 本田技研工業浜松工場労働組合
11月より回収ボックスを事務所内
に設置
- ◆ NPO法人エコライフはままつ
紙容器リサイクル事業啓発活動
(プレハでの啓発活動)



JALグループの取り組み

①お飲み物をご希望のお客さまには
紙製のコップと蓋をご提供



④日本製紙グループでさまざまな紙製品
にリサイクル



(画像はイメージです)

②お客さまの協力のもと、紙コップと蓋
を分別回収



③収集した紙コップを日本製紙グルー
プに引き渡し、再資源化を委託



考察

今年度は、回収ボックスを増設してしたが、回収量は昨年度の同時期の回収量と比較して二割ほど少なく、回収ボックスを増設した効果はあまり見られなかった。

それでも、ボール箱(120サイズ)に換算して、約16個分に相当する量を回収することができた。

また、昨年度からの総回収量は、37.8 kgとなった。

取り組みをPRするために、大学公式インスタグラムに記事を掲載したので、今後その効果を期待したい。

食品紙容器リサイクルも活動が広がりつつある。この活動が継続されることで、可燃ごみの減量や木質資源の炭素固定につながると考えられる。今後、官民が連携した公共システムの構築が必要であると考えられる。将来的に本事業が浜松市ごみ減量対策の一つに組み込まれることで、食品用紙容器のリサイクルが進み、ごみ削減につながることを望む。

謝辞

紙容器回収にご協力いただきました皆様に感謝いたします。

紙容器回収に関する様々な情報を提供していただきました、NPO法人エコライフはままつの高根美保様に感謝いたします。